

【児童への話】

5月もいよいよ下旬に入ります。今週木曜日 21 日は、節季でいう「小満」にあたります。農作物や自然そのものにエネルギーが入り始めて、さあ、これから頑張ろう！という気持ちになれる、とてもさわやかな時期です。まるで落五小の皆さんのことのようなですね。毎日、友達と仲良く楽しく過ごし、一日ひとつ、成長して行ってください。

さて、校長先生は、絶対に皆さんにしないでほしいと思っていることがあります。それは、「いじめ」です。とても大切なことですので、改めて皆さんにお話ししておきます。

昨年、落五小でも、いじめがいくつか起きました。学校でいじめが起こると、関係した人全員から話を詳しく聞いて、いじめを解決していきます。その話を聞く中で、校長先生が感じたのは、「いじめようと思ってしたことでもなく、結果はいじめになってしまった」ということがあることです。例えば皆さんは、次の3つのようなことをお友だちにすることはありますか？

- ・遊びの中でいやなことがあったので、みんなでやり返してしまう
- ・くり返して強く文句を言ったり、見ないふりや知らないふりをしたりする
- ・仲良くしたくて、しつこくちょっかいを出してしまう

これらはいじめだと思ってしている人はいないかもしれませんが、でも、された方にとっては、これらは嫌なことで、これが繰り返されると、お互いに感覚がおかしくなって、結果としていじめになったり、していることが周りの人の迷惑になったりするようになります。

皆さんには、たくさんのお友だちと仲良くなって欲しいと思います。でも、人と人との関係ですから、いつでも上手くいくとは限りません。時には、その人と距離をとることも、とても大事になります。このような人との付き合い方は、先生や誰かが整えてくれることではなく、皆さんが自分で経験し、考え、少しずつ身に付けなければならないことです。学校は、お勉強だけでなく、人との上手な付き合い方や距離感を学ぶ場所でもあるんです。

校長先生が大好きな落五小の皆さんには、「いじめはしない」「いじめを見たら止める」「いじめを止められなければ大人に知らせる」ことを必ず守ってほしいと思っています。そしていつも、『自分が言ったりしたりしていることが、誰かの「嫌だな」という気持ちを生んでいないかな』と考えて行動して、自分の心とお友だちの心を、守ってほしいと思います。

先週、校長先生が話した子の中に、「学校チョー楽しい！」と言っていた子がいました。とてもステキなことです。学校での楽しみも、自分で積極的に探してみてください。ひとつ楽しいことを見付けると、そこから楽しいことがどんどん増えていきます。楽しいことをたくさん見付けて、この落五小で気持ちのよい毎日を、お友だちと過ごしてください。

今日は、「いじめのない楽しい学校にすること」についてお話ししました。

【本講話について】

一日ひとつの成長のために頑張る子どもたちの元気な声が校庭に響き渡り、校内とてもよい雰囲気です。月末の運動会に向かっていきます。今朝はいじめ防止についての講話を行いました。

いじめは発生しないに越したことはありません。第一が予防であり、そのためには教師の児童理解と観察、高いアンテナが大切です。加えて、子ども自身がいじめの正しい認識をもち、「いじめをしない」という強い意志を育てることが必要になります。子どもの心を丁寧に耕し、いじめの発生を防ぐ校内体制を整えていきます。